

<実践報告>最上町立最上中学校

外部講師講演会				
日時／会場	令和7年10月30日(木) 3・4校時／10:30～12:20			
対象者及び人数	学年・クラス等	第2学年	人数	66名
講師	氏名	鈴木 修平 氏	職種	県立新庄病院腫瘍内科 医師
	氏名	斎藤 優子 氏	職種	県立新庄病院 看護師
指導内容 ※○をつける	○	ア がんという病気	○	力 がんの治療法
	○	イ 我が国におけるがんの状況	○	キ がんの治療法における緩和ケア
	○	ウ がんの経過と様々ながんの種類	○	ク がん患者の「生活の質」
	エ がんの予防		○	ケ がん患者への理解と共生
	オ がんの発見とがん検診			
講演の概要				
がんについての知識や体験がほとんどない中学生に「がんになつたらどのように治療を進めていくのか」「がんの種類はどのようなものがあるのか」など治療や病気について専門的に説明して理解を深めた上で、自己を振り返る活動を取り入れていただいた。人にはそれぞれの背景と事情があり、一人一人を大切にする思いを持ち続け、考え続けることが大切であることを講演いただいた。				
講師の方へお願いしたこと				
講演前に家族、親族の他界や療養経験の情報収集と受講希望の有無を確認した。不安を訴えるような生徒が出た場合には別室での学習に切り替えることを確認した。				
児童・生徒の実態及び必要な配慮等				
講演前に家族、親族の他界や療養経験の情報収集と受講希望の有無を確認。前述どおり。				

<実践報告>最上町立最上中学校

研究授業				
日時 ／ 会場	令和7年11月6日(木) 5校時 ／ 13:20～14:10			
対象者及び人数	学年・クラス等	2年B組	人数	32名
授業担当者	保健体育科教員			
指導内容 ※○をつける	○	ア がんという病気		力 がんの治療法
	○	イ 我が国におけるがんの状況		キ がんの治療法における緩和ケア
	○	ウ がんの経過と様々ながんの種類		ク がん患者の「生活の質」
	○	エ がんの予防		ケ がん患者への理解と共生
	○	オ がんの発見とがん検診		
授業の概要 (主な学習内容)	導入10分	講演内容・前時の振り返り。 講演会の感想について触れる。		
	展開30分	<p>がんに罹患するリスクを減らそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事例から罹患リスクについて考える。</li> <li>チェックシートを用いて自分の生活習慣を振り、予防のための解決策を考える。</li> <li>がん検診の目的や早期発見の重要性について理解する。</li> </ul>		
	まとめ10分	<p>本時の学習のまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家族に宛てて、がん検診を受けてもらうためのメッセージカードを記入する。</li> <li>これまで学習した内容が生かせる生活を実践することを確認する。</li> </ul>		

## <実践報告>最上町立最上中学校

事業の成果	今後に向けて
<p>講演会では、腫瘍内科医師からの詳しい説明を受け、がんの怖さや恐ろしさを理解するとともに、がん患者のいる家族の生活を想定した内容では、がんが家族に与える影響や大変さについても実感することができた。また、緩和ケア担当の看護師からは、がんに罹患した後の生活をどのようにサポートし支援しているかの説明を受け、緩和ケアについて学ぶことができた。</p> <p>授業では、自分の生活習慣を振り返り、予防のためにどのように改善するかを考え、友達の改善策を参考にしながら、自分の生活習慣を良いものにしていこうと考えることができた。また、検診についての重要性を確認した後に、家族にがん検診を受けるようにメッセージを記入した。少し照れくさを感じている生徒もいたが、家族の健康を願い真剣に記入することができた。</p>	<p>がんを含め生活習慣病が自分たちの生活習慣と関連していることを理解することはできたと思うが、どの程度なら悪影響を与えるかを具体的な数値で示すことができず、なんとなく理解した生徒が多かったのではないかと感じる。そのため、今回の授業が知識や意識として定着するかは不安である。</p> <p>また、生活習慣の改善には本人だけではなく、家族の協力が必要なことも多くあるので、今回の授業が家庭で話題になり、改善点があれば見直していこうとするきっかけ作りになればとも思う。</p>

事業の様子
<p>講演会</p>  <p>授業実践</p>  